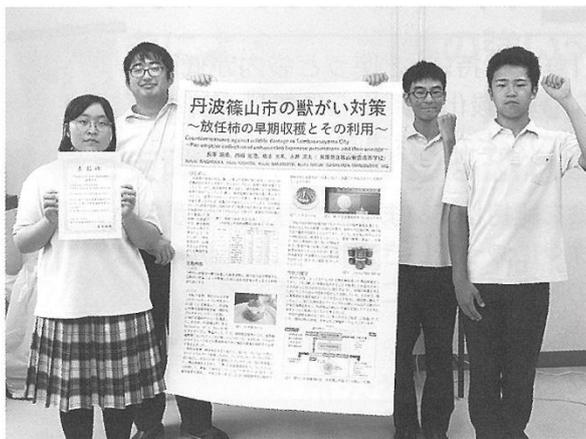


夢への かけはし

教育やスポーツ、文化・芸術などの分野で活躍する若者たちを紹介します。

日本霊長類学会大会 獣がい対策の実践報告で最優秀発表賞を受賞



篠山東雲高等学校自然科学部

さん、 さん、
さん、 さん(左から)

「第39回日本霊長類学会大会」で、篠山東雲高等学校自然科学部のメンバー4人が、「丹波篠山市の獣がい対策～放任柿の早期収穫とその利用～」をテーマにポスターを使った実践活動報告を行い、最優秀発表賞を受賞しました。

報告では、野生動物が山から降りて来ないように放任された柿を収穫して加工品を開発。令和3年度は柿のジャムを使ったロールケーキ「かき茶ロール」を考案して商品化。令和4年度には柿の皮を有効活用しようと、皮を乾燥させてパウダー状に加工し、パンやクッキーなどを製造しました。さらに11月からは、柿のジャムと、獣がい対策をしたことで育った丹波黒大豆や丹波栗のジャムの詰め合わせが、市のふるさと納税の返礼品に採用された事例を発表しました。受賞を受けて、代表の

さんは「活動の目標は、野生動物から農作物を守ることです。私たちの取り組みが獣がい対策につながっていることにやりがいを感じています」と笑顔で話してくれました。

広報「丹波篠山」

10月号